



一の保温泉グランドホテルの桶風呂(貸切専用)で吟行の疲れをいやすリンボウ先生。

防長の野道を行けば。

文と俳句Ⅱ 林望
撮影Ⅱ 大野金繁

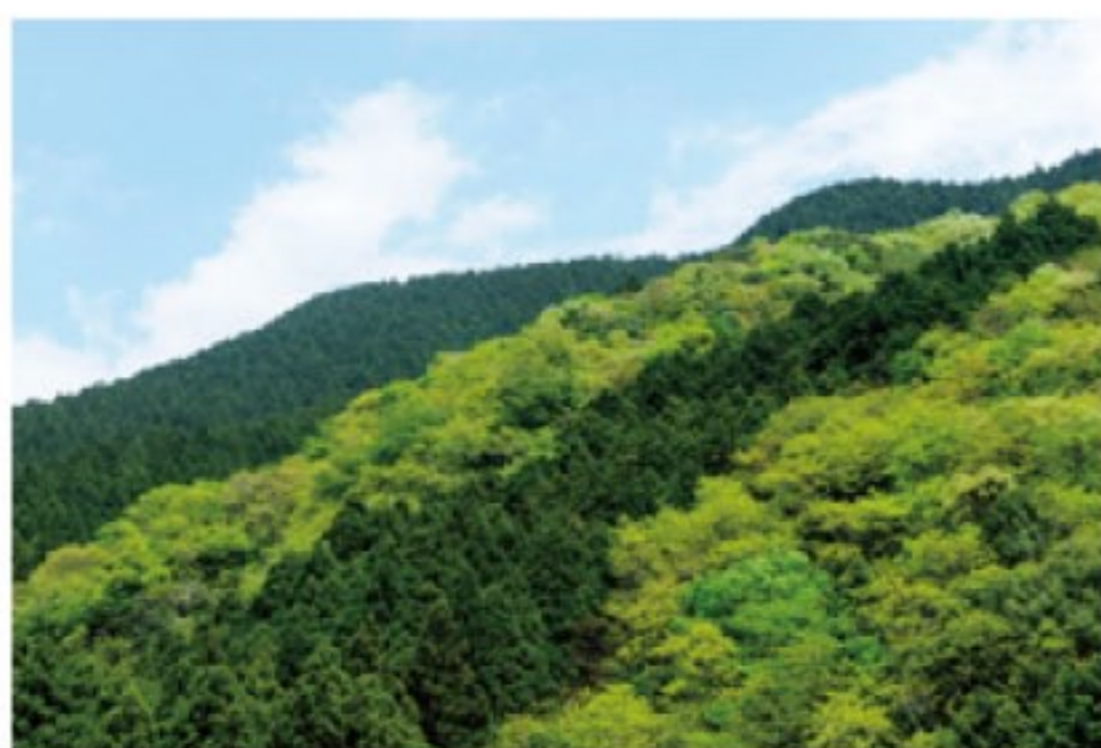
還暦の漂浪俳人デビュー

古典通の国文学者らしく話題万葉。歩く文芸知識ともいえる作家、リンボウ先生。何を書いてもあふれいずるマルチな詩才は、ごくごく自然に俳句精神と結びつく。ダンディに野道をたどり、湯の里をめぐったあげく、俳号「浮世坊」の実力を示す秀句が並んだ。初夏の下関で期せずして、還暦の俳人デビューを飾ったのである。

湧き立てる緑の雲か山若葉

防長の野は穏やかで、その里や山の懐しい相貌を、よくよく味わいつくしたいものである。

とりわけて、花も散り、美しい照葉樹林に覆われた里山が若葉を芽吹かせる時、瑞々しい若緑が全山を覆って、もくもくと生命力を漲らせるありさまは、その豊かな色彩、その圧倒する力感、そんじょうそこらの花の景色など比較にならないくらい、心の深いところにグサリと突き刺さってくる愛^{かな}しさがある。まるで地底から噴出してくる湧水か、立ち上がる入道雲のように圧倒的な力で、木々の生命力が山全体を突き動かしているようだ。



林望（はやし・のぞむ）
1949年、東京生まれ。作家・書誌学者・国文学者・詩人。慶應義塾大学院博士課程修了。ケンブリッジ大学客員教授、東京藝術大学助教授等を歴任。日本エッセイスト・クラブ賞を受賞した『イギリスはおいしい』など、紀行文学作品多数。近著に『文章の品格』（朝日出版社）、『旬菜膳語』（岩波書店）、『能よ古典よ！』（檜書店）、『かくもみごとな日本人』（光文社）、『リンボウ先生のうふふ枕草子』（祥伝社）、『教養脳を磨く！』（茂木健一郎氏と共著、NTT出版）など。古俳諧を師として密かに俳句を詠み続けること30余年、遠からず句集『しのびね集』刊行予定。